

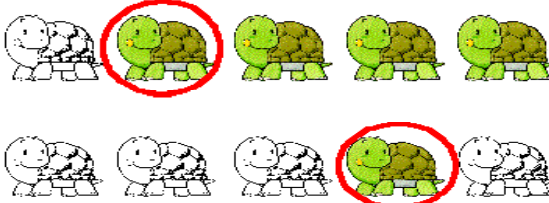
	学 年	単 元(題材)	学 習 内 容
①	1	なんばんめ	数を用いて順序や位置を表す。

かめが 5ひき ならんでいます。
 まえから 4ひきに いろをぬりなさい。
 まえから 4ばんめを まるでかこみなさい。






つまづき方
 ・「まえ」と「うしろ」がよくわからない。
 ・数え間違いをしている。
 ・数えはじめる起点を間違えている。

誤答例 まえから4ひき



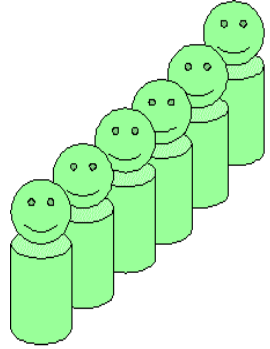
原因
 ・課題の「かめ」が、どちらが「まえ」であるか、わかりにくい。
 ・順序の数え方の理解ができていない。
 ・集合数と順序数の意味を取り違えている。

支援の手だて (指導方法, 教材・教具, ワークシート, ヒントカード, 指導形態の工夫など)

(1)  かめの顔がうしろをむいているので、「まえ」と「うしろ」がわかりにくい。  **まえ**  **うしろ** **「まえ」と「うしろ」がわかりやすい絵に変える。1ぴきの段階で「まえ」「うしろ」を確かめておく。**

(2) 順序数と集合数の違いを理解させるために、**具体的な操作**を取り入れる。

- ・ **実際に児童を並ばせて**, ○人, ○人目などの順番・位置を表す練習をする。



- ・ **生活の中で活用**して定着をはかる。

「うしろから3番目の人が、ボールを取りに来て下さい」
 「まえから3人は、力を合わせて跳び箱を運びましょう」



- ・ 問題場面の図を平面ではなく立体的に表し、「まえ」「うしろ」が明確にわかるようにする。



○ 空間の位置関係を言葉だけでイメージすることが難しい子どもたちには、体験や操作活動を取り入れることが有効です。
 ○ また、「みぎ」「ひだり」、「まえ」「うしろ」をあらかじめ示すことにより、わかりやすくなります。